

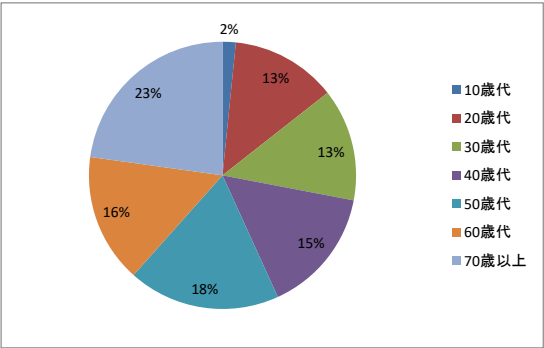
第3回 金沢の工芸について

【アンケート実施期間】 令和8年7月3日～令和8年7月16日

【アンケートの目的】 金沢の工芸に関する関心、使用状況等について、市民の意見等を聞き、今後の施策の参考とする。

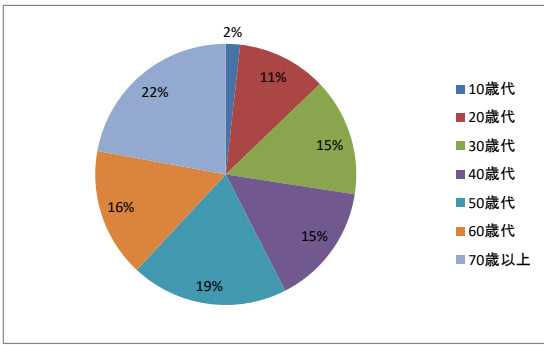
【対象者数】 250 名

内訳	人数	%
10歳代	4	1.6
20歳代	32	12.8
30歳代	34	13.6
40歳代	38	15.2
50歳代	46	18.4
60歳代	39	15.6
70歳以上	57	22.8
計	250	100.0



【回答者数】 226 名

内訳	人数	%
10歳代	4	1.8
20歳代	25	11.1
30歳代	33	14.6
40歳代	34	15.0
50歳代	44	19.5
60歳代	36	15.9
70歳以上	50	22.1
計	226	100.0

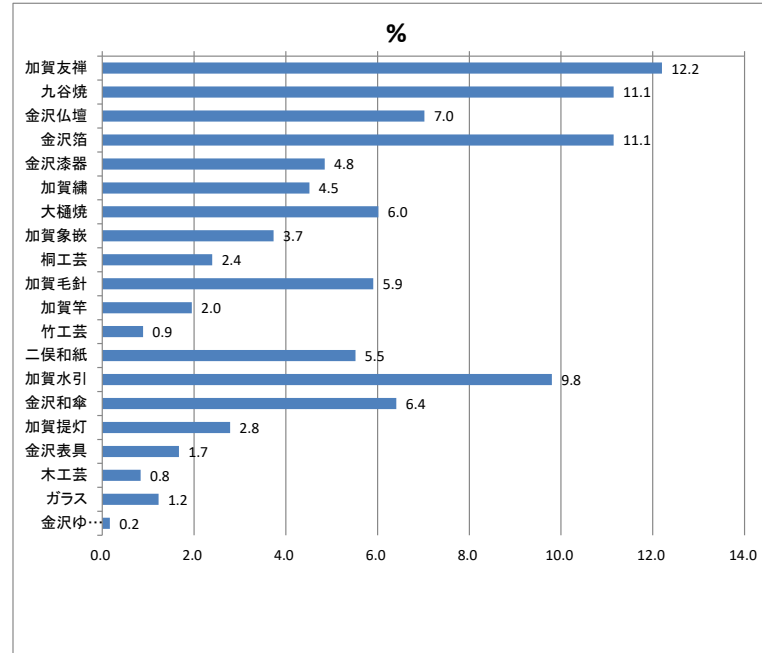


【回答率】 90.4%

問１ 「金沢の工芸」で知っているものはどれですか（複数回答可）

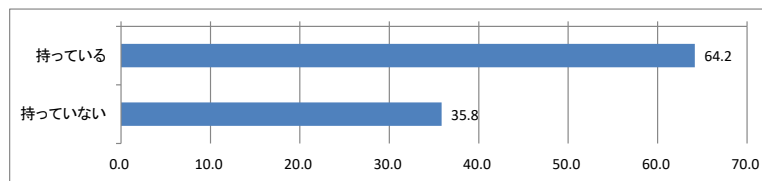
回答	人数	%
加賀友禅	217	12.2
九谷焼	200	11.1
金沢仏壇	126	7.0
金沢箔	200	11.1
金沢漆器	87	4.8
加賀繡	81	4.5
大樋焼	108	6.0
加賀象嵌	67	3.7
桐工芸	43	2.4
加賀毛針	106	5.9
加賀竿	35	2.0
竹工芸	16	0.9
二俣和紙	99	5.5
加賀水引	174	9.8
金沢和傘	115	6.4
加賀提灯	50	2.8
金沢表具	30	1.7
木工芸	15	0.8
ガラス	22	1.2
金沢ゆかりの作り手によるその他の工芸品	3	0.2

※その他…加賀手毬、加賀指ぬき、郷土玩具



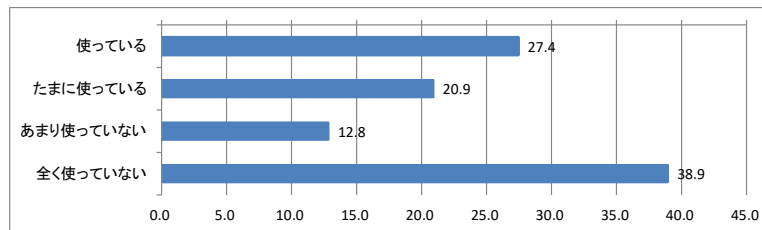
問２ 金沢の工芸品をお持ちですか

回答	人数	%
持っている	145	64.2
持っていない	81	35.8



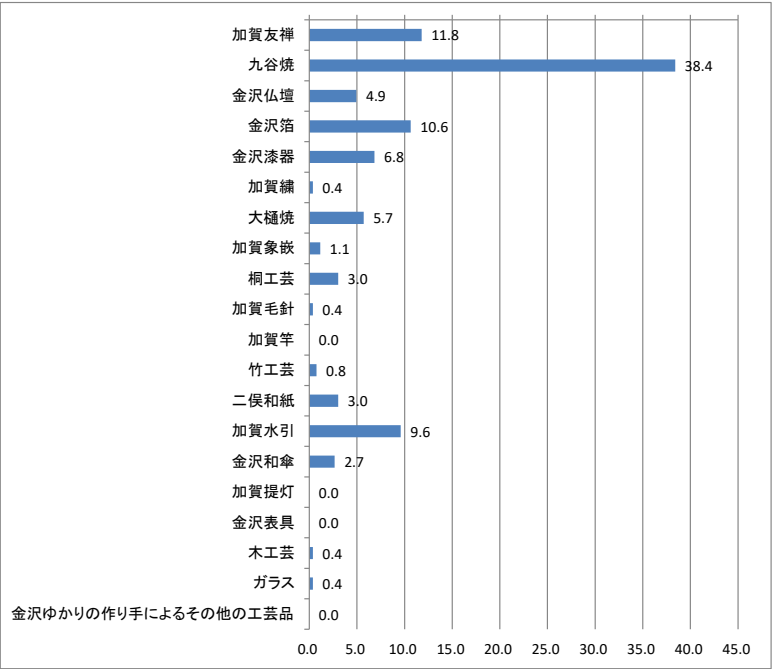
問３ 日頃から金沢の工芸品を使っていますか

回答	人数	%
使っている	62	27.4
たまに使っている	47	20.9
あまり使っていない	29	12.8
全く使っていない	88	38.9



問4 （問3で「使っている」「たまに使っている」と答えた人）日頃使っている金沢の工芸品はどれですか（複数回答可）

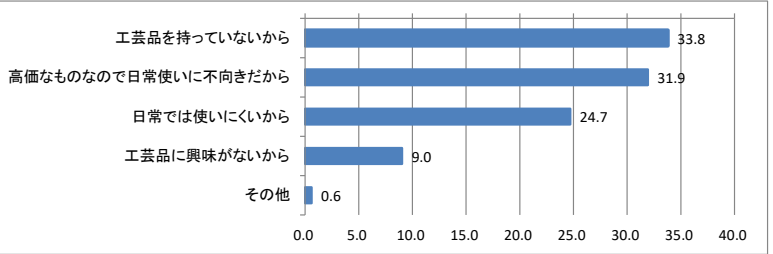
回答	人数	%
加賀友禅	31	11.8
九谷焼	101	38.4
金沢仏壇	13	4.9
金沢箔	28	10.6
金沢漆器	18	6.8
加賀繡	1	0.4
大樋焼	15	5.7
加賀象嵌	3	1.1
桐工芸	8	3.0
加賀毛針	1	0.4
加賀竿	0	0.0
竹工芸	2	0.8
二俣和紙	8	3.0
加賀水引	25	9.6
金沢和傘	7	2.7
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	0	0.0
木工芸	1	0.4
ガラス	1	0.4
金沢ゆかりの作り手によるその他の工芸品	0	0.0



問5 （問3で「あまり使っていない」「全く使っていない」と答えた人）金沢の工芸品を使わない理由は何ですか（複数回答可）

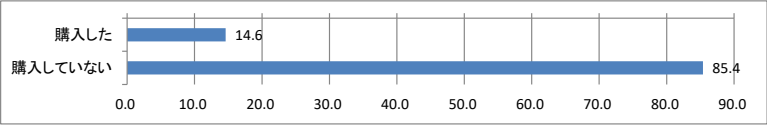
回答	人数	%
工芸品を持っていないから	56	33.8
高価なものなので日常使いに不向きだから	53	31.9
日常では使いにくいから	41	24.7
工芸品に興味がないから	15	9.0
その他	1	0.6

※その他…現在所有していないから。



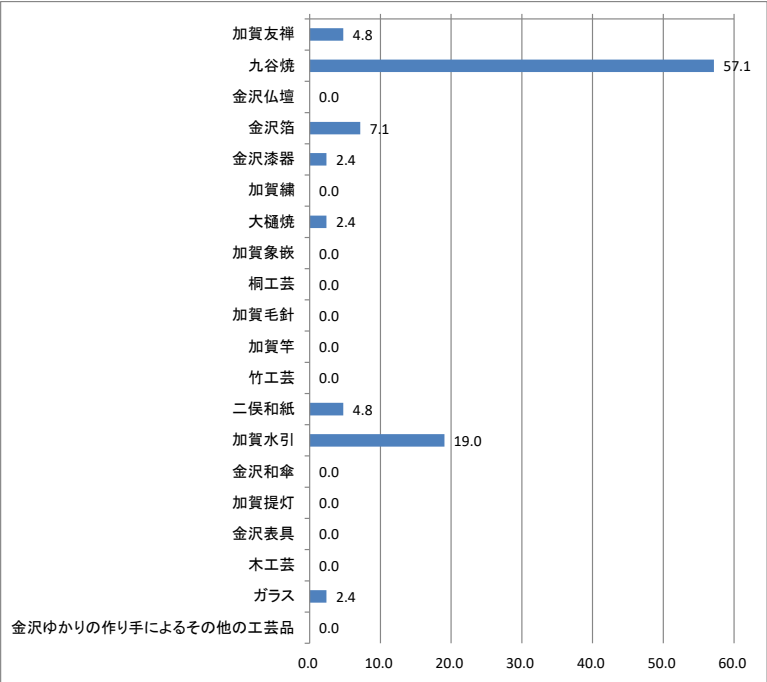
問6 この1年間に自分用に金沢の工芸品を購入しましたか

回答	人数	%
購入した	33	14.6
購入していない	193	85.4



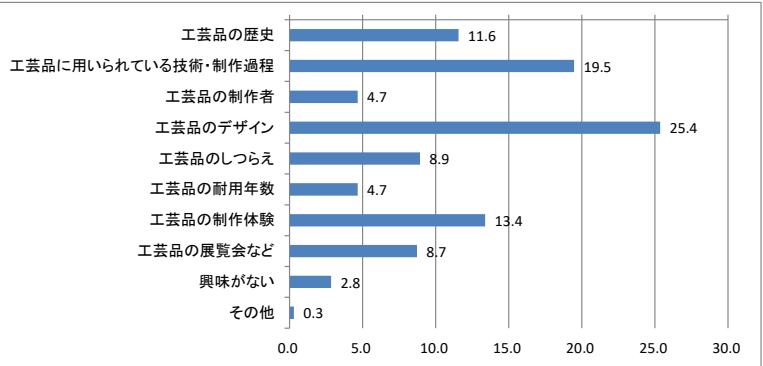
問7 (問6で「購入した」と答えた人) 購入した金沢の工芸品はどれですか (複数回答可)

回答	人数	%
加賀友禅	2	4.8
九谷焼	24	57.1
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	3	7.1
金沢漆器	1	2.4
加賀繡	0	0.0
大樋焼	1	2.4
加賀象嵌	0	0.0
桐工芸	0	0.0
加賀毛針	0	0.0
加賀竿	0	0.0
竹工芸	0	0.0
二俣和紙	2	4.8
加賀水引	8	19.0
金沢和傘	0	0.0
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	0	0.0
木工芸	0	0.0
ガラス	1	2.4
金沢ゆかりの作り手によるその他の工芸品	0	0.0



問8 金沢の工芸品について、興味のあるものはどれですか (複数回答可)

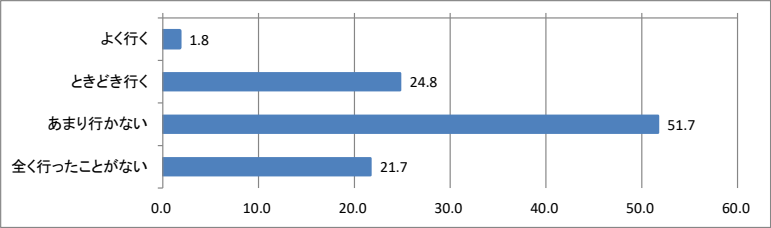
回答	人数	%
工芸品の歴史	57	11.6
工芸品に用いられている技術・制作過程	96	19.5
工芸品の制作者	23	4.7
工芸品のデザイン	125	25.4
工芸品のしつらえ	44	8.9
工芸品の耐用年数	23	4.7
工芸品の制作体験	66	13.4
工芸品の展覧会など	43	8.7
興味がない	14	2.8
その他	2	0.3



※その他…職人の育成、国際的評価、アートとしての価値

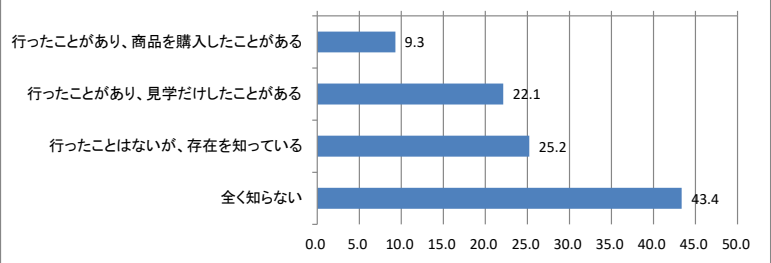
問9 ギャラリーなど工芸品を取り扱うお店に行くことはありますか

回答	人数	%
よく行く	4	1.8
ときどき行く	56	24.8
あまり行かない	117	51.7
全く行ったことがない	49	21.7



問10 「金沢・クラフト広坂」に行ったことはありますか

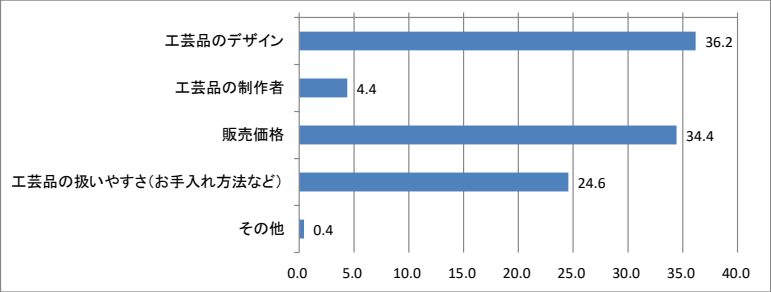
回答	人数	%
行ったことがあり、商品を購入したことがある	21	9.3
行ったことがあり、見学だけしたことがある	50	22.1
行ったことはないが、存在を知っている	57	25.2
全く知らない	98	43.4



問11 工芸品の購入を検討するときに何を重要視しますか（複数回答可）

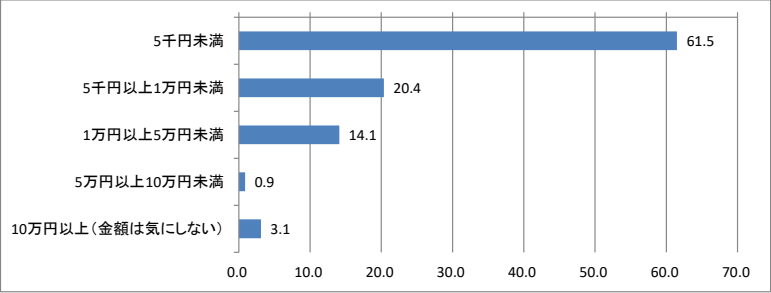
回答	人数	%
工芸品のデザイン	165	36.2
工芸品の制作者	20	4.4
販売価格	157	34.4
工芸品の扱いやすさ（お手入れ方法など）	112	24.6
その他	2	0.4

※その他…希少さ、他にない特徴、利用価値



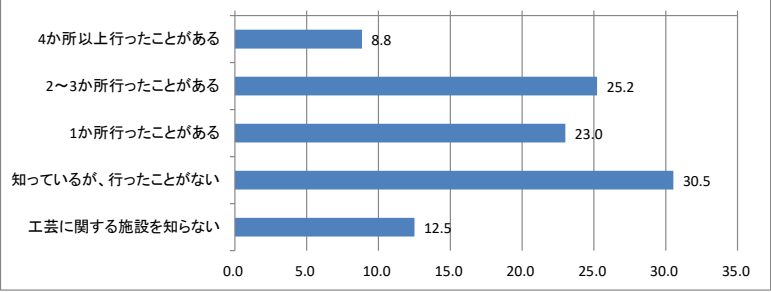
問12 購入を検討する工芸品の価格帯を教えてください

回答	人数	%
5千円未満	139	61.5
5千円以上1万円未満	46	20.4
1万円以上5万円未満	32	14.1
5万円以上10万円未満	2	0.9
10万円以上（金額は気にしない）	7	3.1



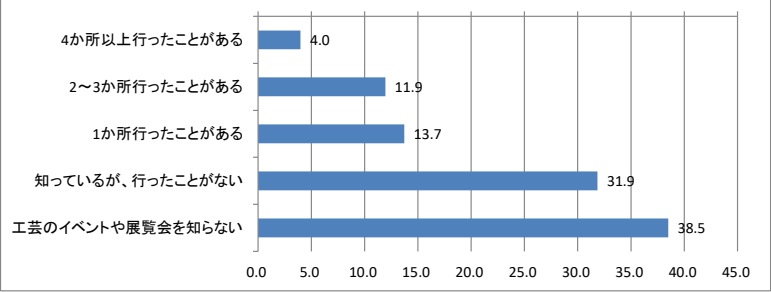
問13 国内の工芸に関する施設（国立工芸館、石川県立伝統産業工芸館、金沢市立安江金箔工芸館など）に行ったことはありますか

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	20	8.8
2～3か所行ったことがある	57	25.2
1か所行ったことがある	52	23.0
知っているが、行ったことがない	69	30.5
工芸に関する施設を知らない	28	12.5



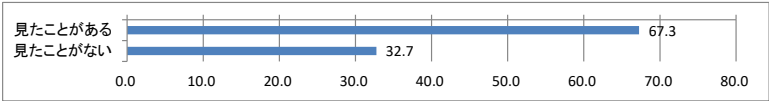
問14 金沢市内で開催されている工芸のイベントや展覧会（KOGEIフェスタ！、金沢21世紀工芸祭、KOGEI Art Fair Kanazawa、金沢市工芸展など）に行ったことはありますか

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	9	4.0
2～3か所行ったことがある	27	11.9
1か所行ったことがある	31	13.7
知っているが、行ったことがない	72	31.9
工芸のイベントや展覧会を知らない	87	38.5



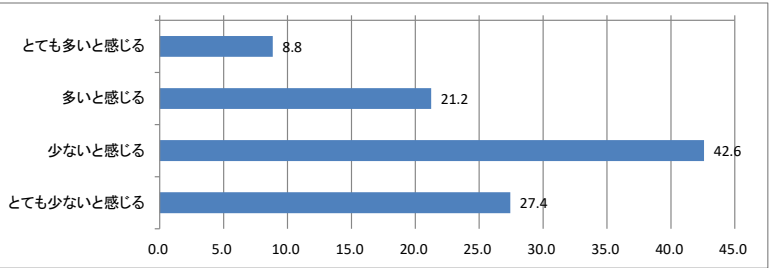
問15 金沢市内の飲食店等で金沢の工芸品が使われているところを見たことがありますか

回答	人数	%
見たことがある	152	67.3
見たことがない	74	32.7



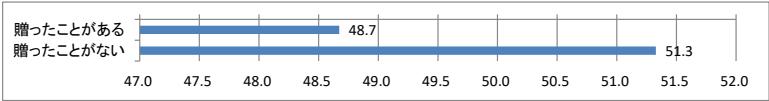
問16 子どもが工芸に触れる機会は多いと思いますか

回答	人数	%
とても多いと感じる	20	8.8
多いと感じる	48	21.2
少ないと感じる	96	42.6
とても少ないと感じる	62	27.4



問17 家族や友人などへのプレゼントとして工芸品を贈ったことがありますか

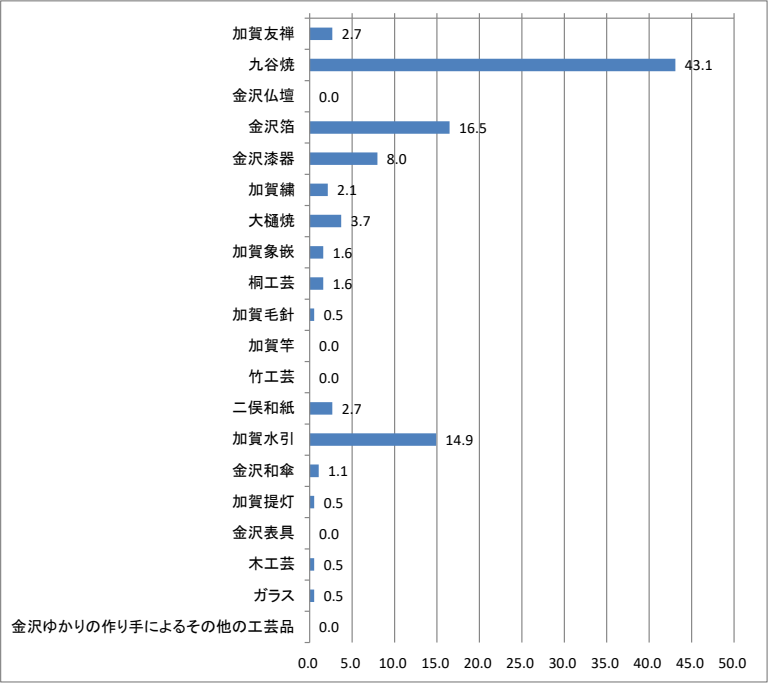
回答	人数	%
贈ったことがある	110	48.7
贈ったことがない	116	51.3



問18 （問17で「贈ったことがある」と答えた人）プレゼントした工芸品はどれですか（複数回答可）

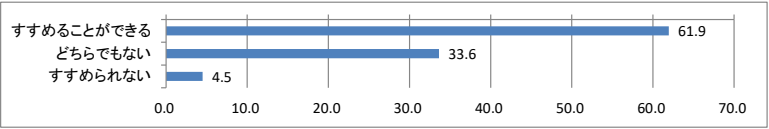
回答	人数	%
加賀友禅	5	2.7
九谷焼	81	43.1
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	31	16.5
金沢漆器	15	8.0
加賀繡	4	2.1
大樋焼	7	3.7
加賀象嵌	3	1.6
桐工芸	3	1.6
加賀毛針	1	0.5
加賀竿	0	0.0
竹工芸	0	0.0
二俣和紙	5	2.7
加賀水引	28	14.9
金沢和傘	2	1.1
加賀提灯	1	0.5
金沢表具	0	0.0
木工芸	1	0.5
ガラス	1	0.5
金沢ゆかりの作り手によるその他の工芸品	0	0.0

※その他…金沢の工芸品では無い。



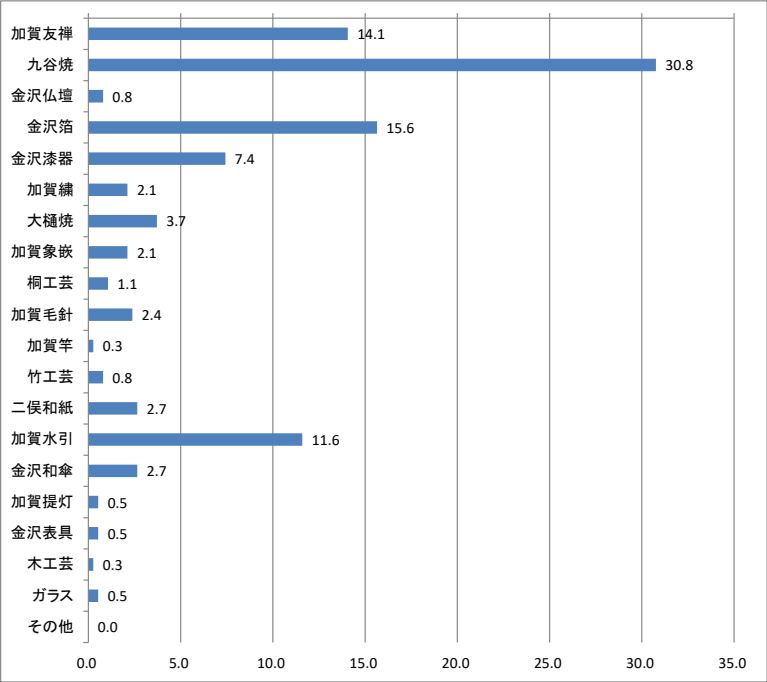
問19 市外の人に、金沢の工芸品の購入をすすめることはできますか

回答	人数	%
すすめることができる	140	61.9
どちらでもない	76	33.6
すすめられない	10	4.5



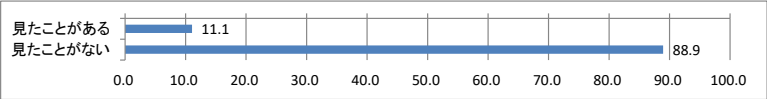
問20 （問19で「すすめることができる」と答えた人）市外の人に購入をすすめたい工芸品はどれですか（複数回答可）

回答	人数	%
加賀友禅	53	14.1
九谷焼	116	30.8
金沢仏壇	3	0.8
金沢箔	59	15.6
金沢漆器	28	7.4
加賀繡	8	2.1
大樋焼	14	3.7
加賀象嵌	8	2.1
桐工芸	4	1.1
加賀毛針	9	2.4
加賀竿	1	0.3
竹工芸	3	0.8
二俣和紙	10	2.7
加賀水引	44	11.6
金沢和傘	10	2.7
加賀提灯	2	0.5
金沢表具	2	0.5
木工芸	1	0.3
ガラス	2	0.5
その他	0	0.0



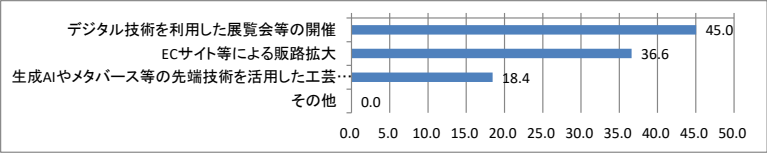
問21 「金沢市デジタル工芸展」のWebサイトを見たことがありますか

回答	人数	%
見たことがある	25	11.1
見たことがない	201	88.9



問22 デジタル技術を工芸分野でどのように活用できると思いますか（複数回答可）

回答	人数	%
デジタル技術を利用した展覧会等の開催	127	45.0
ECサイト等による販路拡大	103	36.6
生成AIやメタバース等の先端技術を活用した工芸の発信	52	18.4
その他	0	0.0



※その他…伝統工芸を体験できるゲームの販売、デジタルでデザインしたものを工芸品にし、ネット注文で配送してくれるサービス、SNSで注目してもらうのが1番だと思う、デザインのアイデア、大量生産、3Dプリンタ、3Dスキャナ等の活用、最近の犯罪（詐欺）を考えると「情報伝達」には使えるが、営業的過ぎると逆の結果となると思う、匠の技を、インスタやYouTubeで発信する、スポーツ、歌、ダンスのビデオ・イベントに協賛・参加しさりげなくアピールする、分からない、よくわかりません

問23 金沢の工芸について、ご意見等がありましたらご自由に記入してください(200字以内)

もっと手軽に買えるようになって欲しい。加賀友禅好きです。

金沢の工芸品は、高級でなかなか買えないものというイメージがあり、デザインに魅了されても、手に取りにくい価格だったりするので、ネットの通販で購入できるようにしたり、子どもでも参加しやすいようなイベントを開催して県外の人にも広まってほしいと思います。

宝石をつくる工程を非常にリアルに体験できるゲームが、かなり売れていたので、伝統工芸を体験できるゲームを作ってほしい。シミュレーションゲームでもなんでもいい。

素晴らしい技術が沢山あるので途絶えないような施策をしていただければと思います。1万以下の手頃な価格帯のもので若い人にも手が取りやすいデザインがあれば贈り物にしやすいなと思います。

工芸は、歴史があり上品な感じで特別感がある為、日常で使いにくいと感じます。

お土産用の手軽なものもいいが、市民が歴史や重みを感じ取れる工芸の数々に触れる機会がもっとあってほしいと思う。

小さい子どもがいるので高価な工芸品は破損が怖くて購入や販売店に行くこと自体を躊躇してしまう。

九谷焼はワンコインでできる箸置きや豆皿のガチャガチャもあり、身近な存在である。他の工芸品も身近な存在になってくれると嬉しい。

自分自身、工芸品は知っているが興味はない状態で、周りにも工芸品に興味を持っている人を見かけたことがないので、このままでは工芸品がどんどんなくなっていったり、薄れていってしまうと思います。ただ、興味を持つためにどーしたらいいかわからず、なくても困らないものなので難しいです。

九谷焼に関してだが、伝統的な模様もいいが時代に合わせたデザインがもっとあっていいと感じる。

もっとふるさと納税で品を増やしてほしい。

加賀手鞠が可愛くていつか欲しいと思っているが子供が小さくてなかなか手が出せない。壊れにくい、子供も扱いやすい商品があったら買うと思う。

まだ未知数なんだろうけど、昔から壁を感じる。今の時代、どの分野も開かれてるので、今後に期待！

派手さの好き嫌いはあれど、九谷焼といえば工芸に興味のない人でも割と知っているほど知名度が高いので、SNSで今どきの絵皿などを投稿し続けていれば特別ヒットする可能性もある。

子供が気軽に体験できるワークスペースなどが増えると嬉しいです！

実は九谷焼です！みたいなものが多いのかなと感じます。もっとアピールしてほしいと思う！

最近少しずつできてきているが、食洗機対応だったり、対応でなくても昔ほど手入れに気を使わないものがあれば良いと思う。

県外の友人や国外の方へのお土産に工芸品をすすめたり、購入するが、

自分のために購入を考えると価格が高かったり、家庭で使用する時(漆器類)に周りの家具や一緒に使用する食器を考えないといけない気がして、なかなか手が出ない。

九谷焼とかは県外の人にも人気なイメージがあるから、たくさんアピールしたらいいと思う。金沢の工芸品は外人が好きそうだから、インバウンド向けにも受けそうな気がする。

高くて買えないイメージがある。

あまり、興味がない分野ですがもっとSNSで紹介されるきっかけがあれば、若者世代にも浸透していくとおもいます。

県内在住の方には割引券があるとか、工芸展への気軽に触れる企画やイベントをもっとあった方がよいと思います。

講師の都合で体験会などの参加人数が少ないことが多いので、もっと市民や観光客に自由に体験してもらえるイベントがあるといい。工芸館。

せっかくの素晴らしい伝統工芸が朽ちることなく、若い世代にもずっと受け継がれてほしいと切に願う。後継者問題もあると思うので、若い世代が携われるような支援もしてほしい。

体験イベントや展示、SNSなどを活用した情報発信をさらに充実させることで、工芸に興味を持つ人が増え、伝統技術の継承にもつながると思います。楽しみにしています。

工芸と聞くと敷居が高いような気がしてしまい、つい避けてしまいます。参考になるようなコメントができず本当に申し訳ありません。

高級なイメージが強く、あまり日常生活にあふれている感じはしない。お祝いで贈り物として贈ったりしたいりする事はあっても、自分のために購入することもありない。KOGEIフェスタなどで気軽に触れ合える機会を用意されているのだから、観光客なども多く混んでいるので出かけようと思えない。しいのき迎賓館でクリスマスリース作りなど参加したことがあるので、市民向けの小さなイベントがあれば参加してみたい。

九谷焼は金沢の工芸というイメージではなかったです。子どもだけでなく、大人も体験できる場所が増えて、日常で使えるとよいなと思いました。

観光客やインバウンド、土産や贅沢品としての工芸だけでなく、金沢市民も含めて日常生活に馴染む食器などの日用品として使える工芸品も必要だと感じる。波佐見焼や有田焼などの先行事例を参考にしてみたい。

興味がある人を対象とした集客するイベントではなくて、もっと広い人にも知ってもらうような仕組み工夫が必要。

多角的に情報発信を！技術の上にあらぐらをかき、ただ待っているだけではお客さんはこない！良さは世に広まらない。

昔は人との交流が多く県外、海外の人とも常に接するのでよく紹介してましたが、今は逆にほとんど人と接する事もなく経済的にも余裕がなくなったのでこうした事にも接する機会もなくなりました。経済的に余裕を作る事や人との交流を作り出す事が「工芸」の発展にも寄与すると思います。

金箔だけでなく、観光客にもっとアピールできたら。。

金沢の工芸品が栄え続けているのは生活に根付いているのはもちろん、金沢美術工芸大学や金沢21世紀美術館、国立工芸館などの美術館の存在が大きいです。日本中の美術館に足を運んでいますが、現代アートと伝統工芸がこれほど融合している都市は他にないと思います。金沢が突出した工芸大国ということをもっと知ってほしいです。

金沢デジタル工芸展のホームページ初めて拝見しました。自分の知らない作品、世界がたくさんあり感動しました。もっと宣伝をして(テレビやYouTubeなど)世界に知ってほしいと思いました。販売するならばまずは小物を作って気軽に購入できるものから始めたらと思います。

頑張ってください。

歴史があるので とても大切にすべきだと想う。

問1の選択肢で本当に沢山あるんだなあと感じました。この機会に展覧会など、行ってみようかなと思いました。ありがとうございました。

身近に工芸品がたくさんあるわりには、触れたり、体験したりする機会がない。

金沢工芸の伝統技術と現代の美意識を伝えるため、日常生活での使用シーンの提示や、食器・インテリアと組み合わせた「コーディネート展示」が有効と考えます。単なる鑑賞物ではなく、現代の暮らしに調和する実用的な「道具」としての活用法を示すことで、新たな使い手へのアピールにつながります。こうした身近な提案が、これからの伝統工芸の普及と発展を支える重要なアプローチになると考えられます。

身近に使えるものが少ない。

ものづくり産業が盛んな地には、工芸が必ずといって良いほど息づいていて聞きます。我が家は、子供の方が関心が高く、時折イベントなどの体験などを楽しんでいます。自然と工芸に触れて子供たちの感性が磨かれ、将来に役立ててほしいと共に、その刺激を届ける後継者や、産業の裾野も広げたいことを願うばかりです。

クラフト金沢は良いお店だと思います。他県に引っ越す方へのプレゼントに何度が購入しました。このようなお店の情報をもっと発信した良いと思います。

海外へのPR発信がされているか。動画配信や、オールドメディア活用など。

金沢にはたくさんの伝統工芸があるのでもっともって知ってもらえたら嬉しいです。

身近に触れる機会を増やしてほしいです。

この分野に関して、あまり関心がないため、アンケートに回答していて金沢に住んでいるのに恥ずかしくなりました。これからは、情報発信されているのなら関心を広げていきたい。

金沢というローカルにこだわっているのはダメだと思う。

購入する人は「金沢」にお金を払っているのではなく「モノ」にお金を払っている。

作り手の背景や伝統を伝えたい気持ちを知りたいと思った。

物を作るのは本当にすごいことです。

私は九谷焼が好きですが日常的に使いたいので食洗機使用可能な物を選ぶ様にしています。

工芸品と聞くと敷居が高く高価なものというイメージがある。身近な日用品から愛着をもって長く使える物などどこで購入できるのか紹介してほしい。

金沢の工芸品の存在は知っていますが、高価で観賞用というイメージがあり、身近な感じがしません。また、それぞれの分野がバラバラに展開していて、統一感がないようにおもいます。例えば、ショッピングモールで市民向けにしたPRイベントをしたり、金沢駅の観光案内所で観光客向けの販売をしたり、金沢市の再開発事業に参加してはどうでしょうか。

国立工芸館が出来てから直ぐに訪れたが、やはり他の21世紀美術館や県立博物館などからすると雰囲気的な敷居が高く(来客の層？スタッフの対応雰囲気？)、他の施設は何度もリピートしているが、工芸館は二度と行っておらず外観を眺めるだけなので、勿体無い施設だなと感じている。陶芸の地位を高めることも必要なのかも知れないが、排他的な雰囲気があると普及せずマイナーなものになってしまう危惧を感じます。
とても素敵な作品が多いですが価格が高く取り扱いも大変で普段使いができない。
着物のお仕事をしているので、もう少し身近で安価で加賀友禪が容易に利用出来ればインバウンドに対応しやすいかな。 着物型のロングワンピースなんかあれば自国に持ち帰っても着れると思う。
子どもが小学生の頃、学校で加賀毛針や金箔に触れる機会があったが、中学、高校とそういう機会がなかった。後継者育成の観点からも、地元の文化を知るためにも、成人に近い年代にも工芸に触れる機会があるといいと思う。
特に無し。
九谷焼が金沢の工芸品と言うのは少々違和感あります。
興味があるが、まだまだ高級感があり、小物から手に取って、使ってみたい。
日常的に使いやすく、手入れのしやすい物ならば、購入したいと思います。
この世界は、「来て・見て・感じる」を優先すべきだと思う。特に金沢に来て「体験できるイベント」「体験をできる宣伝」効果を考慮した対策が必要だと思う。 自身が東京生まれ、育ち金沢8年生から見ても「駅構内の九谷焼を見て」凄いなあ、欲しいなあと思う経験から興味→共感→欲が出て購入した。その点から旅行者に対して初めから印象的なスペースの存在に注力すべきだと考える。 今の時代、ネット…
高級な鑑賞用の物ばかりでは 一般市民はあまり買えないし 持つこともできないと思うので カジュアルで誰もが買えて使えるような物があればと思う。
例えば、大樋焼は、手ごろな価格の流派と長左衛門さんのように、お高いものの流派がありますが、その違いがよくわからないので、工程の違いなどわかる場があるといいなと思います。また、九谷焼にしても、古九谷、赤絵などいろいろありますが、それがきちんと系統立ててわかるところがあると選ぶ際の参考になると思います。
地域に根差してる工芸は、その地域の小学校でふれあう機会もあるのだから、それをもっと拡げて欲しい。
英語中国語香港語のサイトを充実し、和室?マンション・外出時等日常使いのイメージビデオを、インスタやYouTube等に掲載する。
金沢の伝統工芸は大事にしていきたいと思います。若い後継者が伝統を繋いでくれることを期待します。加賀友禪のネクタイなど、身近に着用できるものが普及すれば良いと思います、加賀友禪の和服は高価で庶民は買えないですが。
いろんなお店にセレクトされた商品があるのも楽しく良いが、いろんな工芸品が品揃え良く集められている大きなショップがあったらいいと思う。そこに行けば何でも見れるなら嬉しい。
収入に余裕があれば購入したいです。
伝統を護りつつ、他業種との融合し、進化することが必要。そのためには、若手の育成が大切。
歴史含めて伝統文化など伝承していくことが大事だと思います。価格含めてもっと身近に感じられるようになれば良いのではと思います。
既にされているかもですが結婚や長寿のお祝いに市民に伝統工芸品のプレゼントをしてはどうでしょうか?いくつかの中から選択出来るとう良いと思います。
あまり、日常的に使えるものではないので、なかなか触れ合う機会がないです。 豪華すぎますでも、それだけのからがあるので人気があるかもしれないですね。
もっと親しみやすく接することがあればと思います。
九谷焼や金箔関連など、特定のジャンルは日常的に情報発信多いと感じますが、その他もある程度の頻度で(継続して)発信したら良いと思います。
日常生活で使用するにはちょっと抵抗がある(片づけなど手間がかかる)イメージが強い。
音ほど見る機会が少なくなっていると思います。車も止めやすいところで工芸品を見られたら良いと思います。町の中は駐車場が空いていないです。観光客の方はネットで空き状況を見ていて本当に空いていないです。
発展して欲しいと思います。
金沢の工芸品は、大好きで日常生活に使っています。しかし、価格の高いものが多いので誰にでも勧めるのは難しと思います。と言っても価格を安くするのはあまり感心しません。付加価値の高いものを大事にしてほしいと思います。
加賀友禪 金沢仏壇 加賀繻 加賀象嵌 加賀毛針 二俣和紙 加賀水引 加賀和傘 など 金沢には文化都市として歴史ある伝統工芸が引き継がれています。これを絶やすことなく 金沢市の子ども達にも伝えていくことが大事だと思います。例えば釣具の素晴らしい新製品が出ようとも。
長い伝統のある工芸品は、飽きもこないし長く使える。その分、高価だが、持ち続け、次の代にも引き継げるという価値がある。買い使うということで、伝統工芸を守って行きたい。
富山民芸と比較して、金沢工芸はどうなのか、アピールすべきかと。
特になし。
金沢はいろいろ工芸品があるので、もっとイベントがあれば良いと思います。
イベントや展覧会等があったらわかりやすく発信してほしいです。
催事などでもっと気軽に見聞きできる機会があればよいと思います。
特に無し。
九谷焼は日常的に使っているが、金沢の工芸というか石川の工芸と捉えているので、違和感が…金沢の工芸の定義は？と疑問に思った。
後継者の育成、つなぎ手(企画販売編集人材)、需要の創出、デジタル活用(発信・販売・制作支援)、インバウンド向け高付加価値体験(富裕層対象)、能登半島復興支援(工芸産地の復興支援)など、今すぐ取り組むべき事柄が多くあると思います。市のお取組にこ期待しております。
金沢の工芸を観る機会はかなりある方だと思いますが大事な人へのプレゼント以外に自分自身では購入するよりは鑑賞する事が多いです。
手入れが大変ということもありますが来客時のもてなしに仕舞われてます。
アクセサリーなど身近で手に取りやすい価格のものや日常使いできる九谷焼があるので若い人にも使ってほしいと思います。
金沢駅あんとの食堂前にあるショップはよく行きます。
金沢は工芸品に恵まれていると思います。
今後、児童から親しむ環境と成長過程で取り扱い方も考える機会があればと願っています。
私も習っていますが、加賀手まりは、金沢の工芸品ではないのですか？
新しい技術も取り入れますます素晴らしい文化に成るようにと、 思います。